

第20回 全国大学書写書道教育学会 千葉大会開催要項 (第2次案内)

下記の通り、当会第20回大会を開催します。また、本年は創立20周年を記念して、特別行事を計画し、2日間にわたって開催することにしました。多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

- 1、主 催 全国大学書写書道教育学会
- 2、開催大学 千葉大学教育学部
- 3、期 日 平成17年9月22日(木)・23日(金・祝)
- 4、会 場 千葉大学教育学部
所在地 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33
- 5、参加費 4,000円
- 6、日 程 (予定)

9月22日(木)

9:00～9:25 受付

◆研究発表(午前の部)

〈第1分科会〉2111室

9:30～9:35 発表と質疑等の案内

司会 吉沢義和(文教大学)

9:35～10:05 (1-1) 小学校1年生の平仮名指導に関する考察

長崎大学大学院 江原 理絵
長崎大学 鈴木 慶子

10:10～10:40 (1-2) 日中の筆順定着度に関する比較研究

—日中の筆順原則の経緯と児童の筆順実態調査の比較分析から—

東京学芸大学大学院 王 力 軍

10:45～11:15 (1-3) 小学校国語科書写における漢字学習への連動を視野に入れた
毛筆指導についての一考察

静岡大学・静岡大学附属静岡小学校 杉崎 哲子

11:20～11:50 (1-4) 書写に対する興味・関心を高めるための一試案

—用具・用材としての「筆」を中心として—

東京学芸大学附属竹早中学校 松本 貴子

〈第2分科会〉2112室

9:30～9:35 発表と質疑等の案内

司会 松本仁志(広島大学)

9:35～10:05 (2-1) 書写教育における基本点画の学習指導の階梯研究

—教員養成課程を中心にして—

東京学芸大学大学院 本田 容子
東京学芸大学 加藤 祐司

10:10～10:40 (2-2) 一人ひとりの学習の歩みを追跡することによる授業の再構築

長崎大学 大森アユミ

長崎大学教務職員 林 朋 美

10:45～11:15 (2-3) 左利き者の望ましい硬筆筆記具の持ち方に関する文献的考察

—書写教育の見地から—

長野県松本深志高等学校 小林比出代

11:20～11:50 (2-4) 京都における書写書道教育史研究

—京都市学校歴史博物館の取り組みと収蔵品を中心に—

熊本大学 神野 雄二

〈第3分科会〉2207室

9:30～9:35 発表と質疑等の案内 司会 岡村 浩(新潟大学)

9:35～10:05 (3-1) 生涯書道学習における段級位制度についての考察

静岡大学 滝口 雅弘
(財)日本習字教育財団 葛西 孝章

10:10～10:40 (3-2) 書字活動と脳の高次機能の発達について

—歴史的な体系化と教育への応用—

早稲田大学大学院履修生 川原 淳

10:45～11:15 (3-3) 枠内書字における漢字の大きさの統一感に関わる要素

上越教育大学 押木 秀樹
上越教育大学大学院修了生 武田 卓也

12:00～12:10 記念撮影

12:10～13:00 昼食・休憩

13:00～14:00 ◆総会 (詳細は、別紙「総会次第」を参照)

◆研究発表(午後の部)

14:05～14:10 発表と質疑等の案内

司会 小竹光夫(兵庫教育大学)

14:10～14:40 (4-1) 書道療法の可能性とその問題点—精神科における実験結果から—

神戸松蔭中・高等学校 小松恵理香
大阪教育大学 河合 恵

14:45～15:10 (4-2) 学習者の言語活動に機能する国語科書写のあり方について

横浜国立大学 青山 浩之
横浜国立大学附属横浜小学校 柳澤ももこ
横浜市立浦島小学校 藤原 悦子

15:15～15:45 (4-3) 「書く」ことに関する基礎研究(二)

—コミュニケーション論の視点—

東京学芸大学 豊口 和士

15:50～16:20 (4-4) 香川松石遺品の折手本百冊と明治期習字教科書群との関連

四国大学 久米 公
長崎大学 鈴木 慶子
平和情報センター 保田 明夫

16:25 閉会の辞

16:40～17:20 若手研究者による懇話会

17:30～19:30 三学会合同懇親会

9月23日(金・祝)

9:00～9:25 受付

9:30～12:00 ◆創立20周年記念行事

1. 大学生の文字を書くことに関するアンケート(結果報告) 塚本 宏(和洋女子大学)
2. 学会の20年とこれまでの書写書道教育研究(スライドほか)

※シンポジウム「これからの書写書道教育学」

コーディネーター 宮澤正明

パネラー

押木秀樹・松本仁志・鈴木慶子・青山浩之

報告者

樋口咲子・東 賢司・谷口邦彦・斎木久美

12:00 閉会

7、紀要への論文掲載

大会における口頭発表を論文として紀要『書写書道教育研究』に掲載することを希望する場合は、執筆要領（当学会ホームページに掲載）によって応募してください。また、執筆要領によって執筆された投稿論文も受け付けます。ただし、応募された論文は、査読を経て掲載の可否が決定されます。送付先、締め切り等の詳細は、ホームページ <http://www.soc.nii.ac.jp/jacse/> をご覧ください。

8、大会記念撮影（三学会合同）

日 時 9月22日（木）12時から12時10分
場 所 当日、ご案内します。

9、若手研究者による懇話会

日 時 9月22日（木）午後4時40分から午後5時20分に行います。
会 場 当日、掲示してお知らせします。

10、懇親会（三学会合同）

日 時 9月22日（木）午後5時30分から午後7時30分まで
会 場 千葉大学 厚生施設2階レストラン
会 費 7,000円

11、創立20周年記念行事への一般参加について

内容は、上記の日程中に記載の通りです。この行事には、会員でない方も参加できることとしますので、関心のある方へ、同送のチラシを利用（コピー）してお知らせ願います。会員外の参加者には配布資料代として実費負担をお願いする場合があります。

12、『学会賞』『学会功労賞』の贈呈

書写書道教育に関する優れた業績に対し、『学会賞』『学会功労賞』を贈ります。

13、理事会

次のように理事会を開催します。常任理事、理事は、出席してください。

日 時 9月21日（水）午後5時30分から
会 場 鮎・割烹 みどり 千葉市中央区春日2-21-5 TEL043-241-1530
（JR西千葉駅南口下車徒歩1分）

14、参加申し込み

参加者数を把握し、受付、会場、配付資料などの準備をする都合がありますので、参加する方は、添付の参加者調査カード（はがき）を用いて、9月9日（金）までに必着でお申し込みください。

15、昼食・会場への交通・宿泊について

[昼食] 9月22日は、学内の食堂を利用できます。

9月23日は、学内の食堂が営業していませんので、必要な方は参加者調査カード（はがき）で弁当をご注文ください。

[会場への交通]

①JR総武線「西千葉駅」下車（東口の前が千葉大学南門）、南門から会場まで徒歩8分。

※「西千葉」には特急・快速は停車しません。JR総武線「秋葉原」から「西千葉」まで約50分。

②京成電車千葉線「みどり台駅」下車（徒歩4分で千葉大学正門）、正門から会場まで徒歩4分。

※東京方面からは、京成「上野」から「津田沼」まで特急・会則利用可。「津田沼」駅で千葉線に乗り換え。「みどり台」下車。（約50分）。